

情報公開文書

2025 年 12 月 11 日初版

1. 研究の名称
加齢黄斑変性の前駆病態ドルーゼン発生抑制を有する食品素材の探索・評価
2. 倫理審査と許可
京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。
3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名
 - 1) 代表機関：京都大学大学院医学研究科眼科学 特定講師 畑 匡侑
 - 2) 共同研究機関：ロート製薬株式会社 内服薬・食品開発部 機能開発グループ リーダー 塚本 恒星
4. 研究の目的・意義
ドルーゼンの発生及び進行抑制の効果を有する食品素材を探索することを目的としています。当該効果を有する食品素材を用いて、加齢黄斑変性の発症、進行の予防に貢献が期待できます。
5. 研究実施期間
研究機関の長の実施許可日から 2030 年 12 月 31 日
6. 対象となる試料・情報の取得期間
「ヒト疾患特異的 iPS 細胞の作成とそれを用いた疾患解析に関する研究（京都大学医の倫理委員会承認番号：R0091）」の研究において、2008 年 6 月 4 日～2016 年 6 月 30 日までの間に健常者から採取し樹立した iPS 細胞（2-3 ライン）で、京都大学大学院医学研究科眼科学分野にて保管したものを使用します。
7. 試料・情報の利用目的・利用方法
健常人の iPS 細胞を樹立後、ロート製薬株式会社から提供された食品素材を添加した条件にて培養を行い、効果を有する食品素材のスクリーニングを実施します。これらは本学で実施し、共同研究機関であるロート製薬株式に試料提供は行いません。また、個人を特定できる情報を削除して研究に使用します。
8. 利用または提供する試料・情報の項目
本研究にて新しく募集する検体やその情報はなく、以下の試料を利用します。
(試料)
「ヒト疾患特異的 iPS 細胞の作成とそれを用いた疾患解析に関する研究（京都大学医の倫理委員会承認番号：R0091）」の研究において、健常者から採取し樹立した iPS 細胞で、京都大学大学院医学研究科眼科学分野にて保管したものを使用します。
(情報)
取得していない。
9. 利用または提供を開始する予定日
京都大学医学部附属病院長の実施許可日以降
10. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名
共同研究機関：ロート製薬株式会社 内服薬・食品開発部 機能開発グループ リーダー 塚本 恒星
11. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
京都大学大学院医学研究科眼科学 特定講師 畑 匡侑

12. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法
ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除します。
13. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法
他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。希望される方は、問合せ窓口までお知らせください。
14. 研究資金・利益相反
- 1) 研究資金の種類および提供者
ロート製薬株式会社からの共同研究費。
- 2) 提供者と研究者との関係
京都大学大学院医学研究科眼科学分野およびロート製薬株式会社の研究者が研究の企画、運営、解析し、京都大学大学院医学研究科眼科学分野に属する研究者が論文執筆を予定しています。
ロート製薬株式会社は本研究に研究資金を提供するほか、同社に所属する者が本学の民間等共同研究員として本研究に参加しています。また、同社の研究員が京都大学内において研究操作の一部を実施するため、研究の主要なデータ解析および結果の判断は、ロート製薬株式会社から独立した立場の京都大学側研究者が主導します。研究成果を公表する際には、共同研究であることおよび資金提供の事実を開示し、研究の公平性と透明性を確保します。
- 3) 利益相反
利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。
15. 研究対象者およびその関係者からの求めや相談等への対応方法
- 1) 研究課題ごとの相談窓口
京都大学医学部附属病院 眼科学分野 特定講師 畑 匡侑
眼科外来 電話：075-751-3727
- 2) 京都大学の苦情等の相談窓口
京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口
(Tel) 075-751-4748 (E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp